

一過り弁明 為御料 加
承服 之事 と申 交内
ハ御往 の中 御書 と申 久
由 取 及 取 と 申 久 及 取
役 取 と 申 久 及 取
少 子 等 と 申 久 及 取
併 と 申 久 及 取
只 公 市 内 民 取 と 申 久 及 取
之 事 と 申 久 及 取
其 事 と 申 久 及 取
半 備 と 申 久 及 取
際 持 と 申 久 及 取
利 と 申 久 及 取
只 也 と 申 久 及 取
取 と 申 久 及 取
ハ 御 取 と 申 久 及 取
民 取 と 申 久 及 取
の 事 と 申 久 及 取
故 取 と 申 久 及 取
取 と 申 久 及 取
一 取 と 申 久 及 取
之 事 と 申 久 及 取
之 事 と 申 久 及 取

之書と新字抄上ノ廣見
其ノ一節ヲ上ニハ
那田子付補者ニ様事
也後者見し一ノ事
お徳と經あり如くハ
カキのハカキノ事
ハ多クハ一ノ事
如キハ此際如ク見
在因方武家日侍
田カ徳出者カ
元道ノ双方カ
新字抄上ノ事
と成一ノ事
市由民カ
カ水取カ
戦儀と花ノ運
と主地
備
子カ
志カ
子神
是カ
二カ
左カ
はカ

なり給ふ事ある事との事
之を辨る事ある事ある事
一平事市事は都と指揮
之市は都事上位に在る事
は是か下位に在る事あり
傾きあり而して實に降し
道に動い即の力を倍する
池をやはらぎはの事降し
の意は之を徹し是れは都
に在り市の事とせん
名録に記すに亦地方に
在りて即ちあり諸を指す
事ありべし既ち主事
の初田の事天部の事
其終を言ふ事あるに
凡や故に將事は出る事
此れは辨る事とせん

一第一三の事は都事と對
凡や故に將事は出る事
二の部の関係より以上
其の問題は都事とせん
要點とせん
然るるの事あるは六日
お合ふ日強持する事
通り故に其の事とせん
事ある事ある事ある事

お合ふ月強持手子に以証
道り証の事即ち同也格に事
子儀定之候に當り申付は致神
事也
申二五は急上井上孝徳と云
定まり此書左傳に事也云云
初四中急上申上志事と
申成目下少減申在佐賀守子
徳事申して事候備申事也
申其申力は十城郡申分及
三郡子少之者之候
事御免の取申想定之申候事
之積事候事事候事候事
没け名刺申力何所候事
申事候事力申力は在徳
也
申中二五事申不事
申

二月二十日

長井守

大隈出之

閣下

多謝負の阪下想定之九龍号
之積王に股子事務子取也
没け名刺亦九龍附取付
より津波老力変力は杜徴
たしものさき

二月二十日

江村氏

大隈先生

閣下

佐賀縣佐賀市
江村新伸

東京早稲田

大隈重信殿

名義親啓

